

木彫刻講座が開催されました

2015年9月18日～10月30日 金曜日(全7回)

講師の三宅一樹先生は、「彫ることよりも観察が大切なのです」と仰います。手のひらサイズの自然物を、あらゆる方向からデッサンし、木の側面と上部に写します。建築のように段取りを考えながら、「観察、デッサン、木を切る」を繰り返します。

木は鋸で、鋸が届かないところは彫刻刀で彫っていきます。木彫刻では、鋸と彫刻刀は工具ではなく、自分の手に代わる道具です。半日かけて彫刻刀の砥ぎ方を教わりました。

20名の参加者は、自分で選んだ野菜や果物、貝殻など身近なものを、愛情をもって丁寧に観察し、彫刻しました。最終日には「また作りたい!」と多くの声が上がりました。

11月の会員作品展には14名が出品しました。



三宅一樹先生



彫刻刀は頻りに砥ぎます

包丁の砥ぎ方も習いました!

